

## 体育科「マット運動」 ～タブレット端末の活用～

【内容】タブレットで自分の動きを可視化することやグループでの教え合いを通して、児童同士が主体的に技の技能を高める。

【使用アプリ】ロイロノート、NHK for School「はりきり体育ノ介」

【事例紹介】 昨年度は6年生、今年度は5年生で実践しました。体育が苦手な児童も、タブレットで自分の動きを可視化し、自分の成長を感じることで、意欲化につながったと思います。授業の流れを以下に示します。

## 【展開1】

## 【展開2】

【展開1】では、自分の課題を設定します。テキストカードに記入する時間がない場合、口頭で伝え合う方法を取ります。

【展開2】では、技のポイントを確認します。事前に動画を見ておき、この時間では、カードで確認するようにします。

【展開3】では、グループでアドバイスし合い、技能を高めます。ロイロノートの動画は0.5倍速で見ることができるので、自分の動きをよく見ることができます。技のポイントを基にアドバイスをするので、苦手な子も正しくアドバイスができます。

【展開4】では、本時の振り返りを行います。口頭で伝え合う方法を取ってもかまいません。

【終わりに】マット運動や跳び箱運動など器械運動を苦手としている児童は多いと思います。タブレットを使って自分の動きを確認すること、技のポイントを確認し、アドバイスをし合うことを通して、自分の成長を感じ取ってほしいと思い、この実践を行ってみました。参考になれば幸いです。

## 自己の課題を設定する。

## 本時のめあてを設定する。

- ①自己の能力に適した課題を見付け、本時のめあてを考える。
- ②めあてをテキストカードに記入する。

○月○日  
めあて  
手の付き方と足の開くタイミングを意識して、開脚後転の練習をしよう。

振り返り

## 【展開3】

## 技のポイントを確認する。

めあてを達成するための  
技のポイントを確認する。

- ①技のポイントをNHK for School「はりきり体育ノ介」等で確認する。（できるポイントをカードにして送っておく。）

開脚後転



## 【展開4】

## グループで技の技能を高め合う。

動画を撮影し、アドバイスし合うことで、思考力や表現力を高めるとともに、技の技能を高める。

- ①技を行う前に、グループの児童に見てほしいところを伝える。
- ②グループで動画を撮影する。
- ③撮影した動画と技のポイントを照らし合わせ、アドバイスし合う。
- ④練習を繰り返す。
- ⑤最後に今日の練習の成果を見せる。(発表会)

## 活動を振り返る。

本時の振り返りを行い、  
提出箱に提出する。

- ①展開1で決めためあてについて振り返る。
- ②テキストカードに記入し、提出箱に提出する。(ポートフォリオ)

○月○日  
めあて  
手の付き方と足の開くタイミングを意識して、開脚後転の練習をしよう。

振り返り

手の付き方は上手くいったけど、足が上手く開けなかった。次は足を開くタイミングを意識して練習したい。



## 【実際の様子】

- ①技を行う子、②撮影する子
- ③前から見る子 に分かれ、1回ずつローテーション

## ☆教育委員会主幹講師評☆

現在の体育科における課題は、運動する子とそうでない子の二極化、運動時間減少による体力の低下です。体育科でICTを効果的に活用し、苦手だった運動ができるようになり、積極的に運動できるようになることが期待されています。今回の事例のように、自分の動きを即座に視聴することは、自己変容を確認することができ、技能の習得とともに意欲を高めることにつながります。また、これまで技の行い方について、教師の説明によりその時間内に理解することが求められていましたが、展開2のように事前に動画を見ておくことが可能となり、個に応じた学びの実現と知識の習得にもつながっていきます。技のポイントを理解し、アドバイスを相互に繰り返すことで、思考力・判断力・表現力等の育成にもつながってきます。ICTの効果的な活用により、学力とともに体力の向上にも期待できる事例の紹介でした。